

責任者	人間福祉学部長	作成部局	人間福祉学部
-----	---------	------	--------

### 2021年度に向けた教育研究目標

#### 【A票:教育研究目標1】

(タイトル)

人間福祉学部学生の学力の向上

(狙い内容)

高等学校での学びから大学の学びへの円滑な移行を促進し、学力の底上げを図る。

#### 1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標)

低学力の学生数を減少させ、学生間の学力格差を是正する。

#### 2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。

入学方式毎に、学力の差・学習意欲に大きな隔たりがあり、授業運営に悪影響が出ている。進級判定不合格者や標準修業年限内に卒業できない学生に占める各入学方式の割合と学力・学習意欲との間に相関関係が見られる。また、進級判定不合格者の総数も、学部の入学定員300名に対し約1割に達しており、これを減少させることが必要である。

#### 3. 達成度評価

評価指標	直近2年間の2年生から3年生への進級判定不合格者数における入学方式毎の人数の割合、または、進級判定不合格者の総数のいずれか。(いずれかを満たせば尺度達成)	評価尺度	A: 割合が15%を超える入学方式がない、または不合格者の総数が15名未満。 B: 割合が20%を超える入学方式がない、または不合格者の総数が20名未満。 C: 割合が25%を超える入学方式がない、または不合格者の総数が25名未満。 D: 割合が30%を超える入学方式がある、かつ不合格者の総数が30名を超えている。
------	---	------	---

#### 4. 年度毎の目標値

2015年度(現状)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
D	D	D	C	C	B	A

#### 【A票:教育研究目標2】

(タイトル)

学問的基盤に根ざした専門的かつ実践的な教育の提供

(狙い内容)

「実学の府」にふさわしい、「3つのC」(「人への思いやり(Compassion)」、「幅広い視野(Comprehensiveness)」、「高度な問題解決能力(Competence)」)を在学中に身に付けられる教育内容を提供する。

#### 1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標)

学生一人一人が、自ら専攻した領域の学びに意欲的に取り組み、充実感をもって卒業する。

#### 2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。

単に単位修得による4年生大学卒業という事象を目的とするのではなく、4年間の目標を自ら設計し、モチベーションを維持しながらそれに向かって努力して達成するというプロセスを保証する教育課程にする必要がある。特に、「実学の府」として「3つのC」(「人への思いやり(Compassion)」、「幅広い視野(Comprehensiveness)」、「高度な問題解決能力(Competence)」)を育むという教育理念を体感できる教育内容を提供する必要がある。

#### 3. 達成度評価

評価指標	卒業時に実施するアンケート結果(「4年間の学びを通して『3つのC』が身についたと思いますか」という問いに対する「はい」と答える者の割合)	評価尺度	A: 「はい」と答える者の割合が100%に対して100% B: 「はい」と答える者の割合が100%に対して75% C: アンケートを実施し、現状を把握 D: アンケート未実施
------	--	------	--

#### 4. 年度毎の目標値

2015年度(現状)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
D	D	C	B	B	B	A

**【A票:教育研究目標3】**

(タイトル)

「人間福祉」の多様性と可能性を社会に発信し、「人間福祉」という学問領域を社会に浸透させる。

(狙い内容)

「人間福祉」に関わる諸領域に強い関心と学ぶ意志を持つ学生を受け入れ、4年間の意欲的な学びを通して身に付けた知識・価値観・学問的及び実践的手法を活用して社会の発展に寄与し得る卒業生を社会に輩出する。「人間福祉」という領域が「福祉の現場」のみならず社会のあらゆる場面で活かすことができる可能性に溢れるものであることを社会に浸透させる。

**1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標)**

人間福祉学部各学科の学際的かつ幅広い学びに深く関心を持つとともに、それぞれの専門性に対して強い意欲を持った、本学部を第一志望とする学生を安定的に確保する。

**2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。**

「人間福祉」に関わる諸領域及び各学科での学びについての理解が十分ではないために学びに取り組む意欲に欠ける入学生、言い換えれば本学部を第一志望としていなかった新生が散見される。このことは入学者のみに責任があるのではなく、本学部の情報発信の脆弱さにも起因する。再度人間福祉学部及び各学科の特長を確認し、多様な媒体を通じて体系的に分かり易く発信することが急務である。また、この過程を通じて、在学生及び教職員のアイデンティティ醸成も促進され、ソフト面での情報発信も可能となる。

**3. 達成度評価**

<b>評価指標</b>	卒業時アンケート結果(「人間福祉学部が第一志望でしたか」という問いに対して「はい」と答えた者の割合)	<b>評価尺度</b>	A: Cに対して10%アップ B: Cに対して5%アップ C: アンケートを実施し、現状を把握する D: 現状を把握していない
-------------	--	-------------	--

**4. 年度毎の目標値**

2015年度(現状)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
D	D	C	B	B	B	A